

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター設立2周年記念第6回シンポジウム



ふくしま再生と 歴史・文化遺産



日時／2013年2月3日 

13:00～18:00

会場／福島県文化センター 2階会議室

主催：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

共催：ふくしま歴史資料保存ネットワーク

後援：福島県教育委員会、(財)福島県文化振興財団、福島県史学会、東北大学災害科学国際研究所、福島民報社、福島民友新聞社

お問い合わせ先：うつくしまふくしま未来支援センター（担当：千明）

電話：024-504-2833 E-mail: fure@adb.fukushima-u.ac.jp

「ふくしま再生と歴史・文化遺産」

開催趣旨

2011年3月の東日本大震災以後、福島大学はふくしま歴史資料保存ネットワークならびに関係機関・自治体等と協力し、さまざまな歴史資料保全活動に取り組みながら、文化面での復興支援に向けて学術研究を進めてまいりました。その一方で、原発事故警戒区域の被災文化財の保全は今もなお多くの困難を抱えています。

このシンポジウムでは、警戒区域における文化財保全の現場からの報告とあわせ、ふくしま再生に不可欠な歴史・文化遺産の保全の意義と今後について考えてみたいと思います。

PROGRAM

開会の挨拶 山川 充夫(福島大学つくしまふくしま未来支援センター長)

基調講演

「歴史資料の魅力と活用」 五味 文彦氏(東京大学名誉教授、放送大学教授)

シンポジウム第Ⅰ部

「原発事故警戒区域の文化財保全 ～被災文化財の今後を考える～」

- ・ 双葉町:吉野 高光氏(双葉町教育委員会生涯学習課)
- ・ 大熊町:中野 幸大氏(大熊町教育委員会教育総務課)
- ・ 富岡町:三瓶 秀文氏(富岡町役場生活支援課)

シンポジウム第Ⅱ部

「福島県の歴史・文化遺産の今、そして未来」

- ・ 計画的避難区域における文化遺産の保護 ～復活した飯館村文化祭が語るもの～
本間 宏氏(財団法人福島県文化振興財団歴史資料課)
- ・ 奉納絵馬の救出と地域の活動 ～須賀川市朝日稲荷神社の事例～
内山 大介氏(福島県立博物館)
- ・ 福島大学による歴史資料保全活動と地域連携
阿部 浩一(福島大学行政政策学類)

ディスカッションと提言(全報告者)

司会:菊地 芳朗(福島大学行政政策学類)



会場へのアクセス

福島県文化センター

福島県福島市春日町5-54 TEL 024-534-9191

【交通アクセス】

福島駅東口バス乗り場(9番)より循環バス(1・2コース)に乗車『文化センター入口』停留所下車、徒歩5分

※駐車場は満車となることもありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

